

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の取組

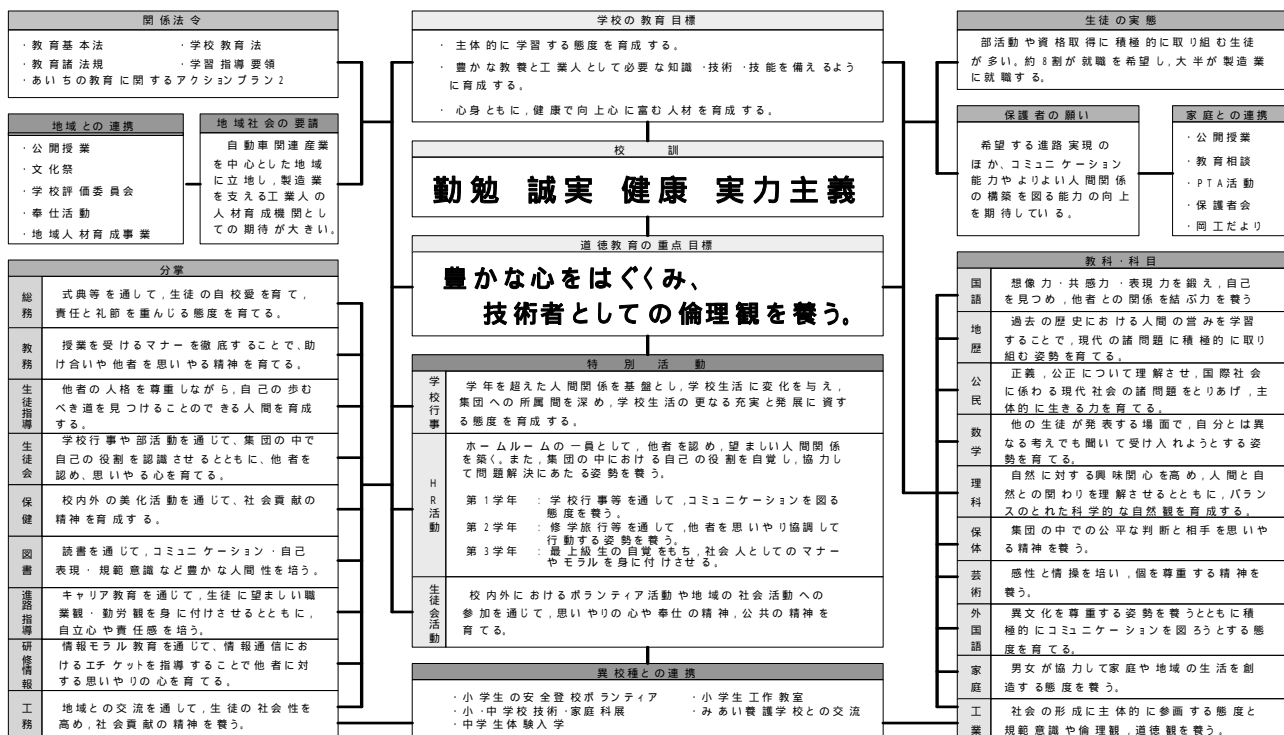
- 道徳教育の全体計画の見直しと各教科における道徳教育の展開方法例 - (県立岡崎工業高等学校)

1 全体計画の見直し

平成21年3月に公示された新学習指導要領では、道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものとされている。しかし、教員が十分に理解し、意識しているとは言い難い。そこで本校では、平成22年度・23年度に作成した全体計画をブレインストーミングやKJ法を用いて、各教科及び分掌の代表、更には転任者や初任者をまじえて全体計画の見直しを行い、本校の道徳教育の目標や取組を理解し、意識の高揚を図った。



道徳教育の全体計画(見直し後)



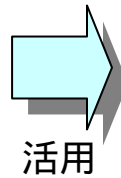
2 各教科で進める道德教育

高等学校における道德教育の中心は、「人間としての在り方生き方について自覚を深める」ことにあるが、その中心となる公民科以外の教科では、実際にどのように進めていけばよいか、具体的な授業をイメージしにくい面がある。それは、1時間の授業全体を道德教育に当てはめる必要があるという意識にとらわれているからではないだろうか。

そこで、「マイクロインサージョン」という手法を高等学校の授業に利用してみることを考え、学校全体で道德教育を進める取組の一つとして実践している。

【マイクロインサージョンとは】

マイクロインサージョンとは、工学・技術教育において、倫理的な価値を問う話題を少し挿入することで、技術者としての「在り方」に対する感度を高めることを目指すものである。すでに金沢工業大学科学技術応用倫理研究所等で、マイクロインサージョン手法を取り入れた技術者倫理教育の構築が進められている。



各教科への応用
道德教育を独立した科目として扱うだけでなく、各科目の中に道德的な話題を埋め込む。

3 マクロインサージョンの活用例

【例】

電力技術（工業・電気）
主題：エネルギーの資源の可採年数

限りある資源の有効利用



高効率化・生産性の向上

電気工学あるいは技術
上・運用上の内容

他人を思いやる心
民主的な社会・国家
の発展に努める
環境保全に努める

道德的
観点を
加える

【例】

機械設計（工業・機械デザイン）
主題：優先席って必要？

《教科的視点》

電車の「ガタンゴトン」の音の原因はレールの隙間によることから、金属は熱によって膨張・収縮し、この金属が両端を固定されていた場合、熱応力が生じることを説明し、理解させる。

《道德的視点》

バスや電車には優先席がある。この席が存在する意味を考えさせるとともに、今後生活する中で、どのように行動すべきかを考えさせる。